

2023年度児童発達支援評価表・保護者(公表)

公表日：2024年3月31日

事業所名：座間市立児童発達支援センター サニーキッズ（児童発達支援）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	保護者ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	3	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 公園等外遊びができると良い 夏の安全な水遊びのスペースを確保してほしい 発達がゆっくりな子にとっては十分だが、活発な子にとっては屋外でのあそび場も必要だと思う。 以前より部屋が狭くなったように感じる。一日中その部屋にいるわけではないので良いですが… テラスやお庭に出られると嬉しい 外での活動（夏はプール）ができると良い。お散歩などの機会があると良い。 教室は以前より狭いかもですが、収納スペースがしっかりあり、広く見え、安心できるように見える クラスは小さくなるも、移動して活動しているので十分です 	<ul style="list-style-type: none"> テラス、庭を利用した活動については、建物構造/設備安全面から難しい状況にあり、改善に向けて行政への要望を重ねています。 建物内に3つの活動部屋を設け、1ヵ月程度を目安にレイアウト変更を行うなどの工夫を行っています。 日々の療育では、活動部屋を活用し、場面の切り替えを行いながら展開しています。 立地条件（安全上のリスク）から、徒歩での散歩機会を設けることが難しく、今後屋外活動の在り方については検討をしていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	4	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 先生の入れ替わりが多いことは仕方ないですが、「どなた？」と思うことがある クラスの数が増えた為、職員の配置が適切かどうかはまだ不明 他のクラスは分からないが、もう一人多くても良いかと思う 	<ul style="list-style-type: none"> 新規職員採用など、月のお便り加え、掲示板への掲示を行っていきます。 所属職員について、建物内での写真掲示再開に向けて準備を進めていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	25	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 小さなお部屋で様子は2回見れたが、大きな部屋で遊具で遊ぶ様子を見なかった。 建物は大きくなったからか、移動距離があるかもしれないが問題なさそう 一人ずつ動物マークが付けられ、自分の場所を認識できている 	<ul style="list-style-type: none"> 観察機会には様々なお部屋での活動場面を見ていただけるよう配慮していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	26	2			<ul style="list-style-type: none"> いつもきれいにお掃除されている 	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画</u> *2が作成されているか	25	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 無回答(1) 今後就学に向けてどのような支援が行われるか気になっている 親と違う観点から、分析してもらえると参考になる 	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画作成時に就学を意識した視点で現状確認/目標設定を行う、情報提供/共有を目的として「お話タイム」の実施などの支援に取り組んでいきます。都度、ご案内をさせていただきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> 毎回少しずつ目標が進歩していて励みになる 	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26	0	0	2		
	8 <u>活動プログラム</u> *3が固定化しないよう工夫されているか	24	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> いつも教室に走っていき、安心して過ごしている 	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10	4	9	5	<ul style="list-style-type: none"> 現在交流はない 4月からの幼稚園入園に向けてサポートをしてもらっている 個人的には幼稚園等を併用して通うことで交流ができるが、療育に通うだけだと交流はできないと思う 併用していない子には機会がないと思うが、そもそもそのような機会が必要なのではないか。 事業所を介しての交流機会はない 今は最低限で仕方ないと思う 	<ul style="list-style-type: none"> 保育園・幼稚園を併用するご家庭が増えていますが、日々登園のお子さん（ご家庭）に対する交流の機会提供については今後意見交換を行うなどして、方向性の検討を行います。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 概ね把握しているが具体的ではない 移転などきちんと説明を受けた 	
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	26	0	0	2			

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	19	5	0	4	・会話や受け答えを苦手としていて、どのように接したり、トレーニングすればよいか知りたい。 ・企画は昨年、一昨年より増えたが、もう少し具体的なテーマで開催してほしい ・子どもに接するときの迷いがなくなった	・ミラー観察等の機会を通じて、お子さんの現状を共有するとともに、保護者の困り感/心配感を伺い、ともに考え取り組みます。 ・専門職等を交えた「お話タイム」の機会提供を計画していきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	25	3	0	0	・移転前に比べると話す機会が減ってしまったように感じる	・移転後の建物状況から、受け渡し時のコミュニケーション機会が減少しています。保護者が身近に相談できる環境づくりを検討していきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	0	0	1		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	18	5	2	3	・保護者の自主性によるもので、事業所を介しては行われていない ・少ない機会なので判断できない	・父母会については保護者自身の負担を考慮する必要があるため、交流機会としての企画等を検討していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	26	0	0	2	・必要に応じて対応できる体制ありがたい	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	3	0	2	・HPは保護者限定にするなどして中の様子を教えてほしい	・ホームページの見直しに向けた準備を進めています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	18	4	1	5	・項目のうち業務に関する自己評価は発信されていない	・ホームページへの掲載等にむけて準備を進めていきます。
非常時等の対応	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	25	2	0	1	・ミラー見学の紙が別の方が入っていた	・誤りのないよう、取り扱いについて事業所内で再度確認をしていきます。
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	21	4	0	3	・新事業所になってからは行われていない。マニュアルについての説明はない。	・移転に伴いマニュアルの見直しを行っており、完成後保護者向けに周知を行います。
満足度	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	3	0	2	無回答(1) ・数年前に一度訓練をしていると聞いたことはあるが、最近はしているか？ ・保護者のお迎え訓練があっても良い	・クラスごとに1回/月の避難訓練を実施しており、今後も年間予定を立てて取り組んでいきます。
	22	子どもは通所を楽しみにしているか	26	2	0	0	・リュックを見せるとスキップで乗	
	23	事業所の支援に満足しているか	27	1	0	0		

2023年度児童発達支援評価表・事業所(公表)

公表日：2024年3月31日

事業所名：座間市立児童発達支援センター サニーキッズ（児童発達支援）

		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点 など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法定上の基準を遵守するとともに、活動部屋（3室）を活用した場面転換を行うなど工夫をしています。
	② 職員の配置数は適切であるか	○		法令上の基準に加え、利用児（クラス）傾向に合わせて職員1に対して利用児1.3～2.3人程度の目安をもって人員配置を行っています。また課題内容によって調整を行い、過不足ない配置に努めています。
	③ 生活空間は本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また障がい特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		建物内・部屋のレイアウト、一日の流れ、人員配置など取り巻く環境の構造化を意識して進めています。またそれぞれのお子さんに合った手掛かりを模索し、提供に努めています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	○		定期的な換気、消毒など感染症対策を行いながらの運営に努めています。構造上の課題から、テラスや庭の使用が難しく、改善に向け行政への要望を重ねています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○		クラス単位では四半期毎、事業所としては半期毎に計画を振り返り、見直しを行っています。クラス単位での振り返りにおいては多くの職員が立場を越えて参加できるよう工夫しています。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	○		評価表に加え、年2回の家族懇談会を実施し、ご意見を伺うなかで登園を支える環境作りなどの検討を行っています。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	○		保護者向け評価表、それらを踏まえた事業所としての自己評価をまとめ、事業所内に掲示して発信しています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部研修への積極的な職員派遣、年次ごとにテーマを分けてのオンデマンド研修受講など、職員のスキル向上に向けた取り組みを行いました。
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	○		日頃から丁寧な観察を行うとともに、併用先である集団（幼稚園・保育園）や家庭での様子を確認、発達や特性の視点をもってお子さん像を明らかにして保護者と共有を行うように努めています。お子さんの過ごす場をイメージしながら、優先課題を保護者とともに考え、個別支援計画を作成しています。
⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		定期的に発達・特性の視点からアセスメントを行い、お子さんの変容について把握できるよう努めています。	

適切な支援の提供

⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	○	児童発達支援ガイドライン内容を集約したものを用いて共有の機会を持ち、個別支援計画作成に活かされるよう工夫をしています。 登園日数や母集団状況等を考慮して、児が無理なく取り組める分量、優先順位を見極めて計画作成を行っています。
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○	作成された個別支援計画について、関わる職員で共有する機会を持ち、方向性や支援のポイントが統一できるよう工夫しています。また目標達成度を鑑みながら、支援内容の調整を行うよう努めています。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	事業所全体で大枠となる、あり方やスケジュールを立て、クラス毎にお子さんに合わせて展開しています。すべてのお子さんが楽しめるよう、教材や提供する内容について工夫に努めています。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	丁寧な経験の積み重ねを意識しながら、子どもたちの変容に合わせた、プログラムの展開に努めています。強みを活かすことに着眼し、プログラム内容を工夫しています。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○	子どもたちの発達課題について日常生活動作全般や社会性などの視点から優先すべき内容を見極め、無理のない個別支援計画作成に努めています。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	開始前に打合せを行い、支援内容・役割分担の確認に加えて、前回様子や想定されるお子さんの反応などを共有しています。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	終了後に反省会を行い、お子さんの取り組み状況や観察・関りから得られた情報を共有し、見立てや見通しに活かすよう努めています。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証、改善につなげているか	○	日々の取り組みについて、個人・集団双方の視点から記録を行い、連続性のある支援を心掛けています。また気になる行動などについては短期的に記録を行い、適切な支援を検討する材にしています。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	年間計画にモニタリングを組み込み、定期的な個別支援計画見直しにつなげています。お子さんの小さな変化を丁寧に捉え、保護者と共有し、計画に反映するよう努めています。
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもっともふさわしい者が参画しているか	○	担当者会議の機会は多くありませんが、計画相談に係るモニタリングなど主たる支援者（担任など）が対応し、お子さんの現状を適切に伝えていくよう努めています。
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	複数の関係機関が関わる場合や、連携を図る必要性が生じている場合には適宜連絡を取り合い、連携した支援が行えるよう努めています。
㉓	（医療的なケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	保護者を介して情報共有などを行っていますが、必要が生じた場合には速やかに関係機関へ連絡を行い連携を図っていくよう努めます。
㉔	（医療的なケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	保護者を介して情報共有などを行っており、直接の連絡体制については未整備です。

関係機関や保護者との連携関係や保護者との連携	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っているか	○	就園の機会にはご家庭の同意のもと経過や取り組みについて引継ぎを実施しています。就園後も継続的に現状について情報共有を行い、お子さんが安心して過ごす環境づくりに向け連携に努めています。また療育の役割を伝えることで、集団における躰きへの取り組みに向けて協働していけるよう工夫しています。
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	必要に応じて現状や経過の共有を行っています。またサポートブックの作成などを通じて、保護者が学校に向けてお子さんの状況や心配感を伝えていけるよう後方支援に努めています。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	連絡会議に出席し、各事業所の取り組みを知る等情報収集に努めています。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいの無い子どもと活動する機会があるか	○	幼稚園・保育園等を併用するお子さんが多く、定期的な交流機会は設けておりません。今後日々通園をするお子さんへの機会提供に向けて検討を行います。
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	座間市内の事業所連絡会議、県内通園事業協議会など、積極的に参加をしています。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解をもっているか	○	ミラー観察ではフィードバックの時間を確保し、日頃からの状況を伝え合うよう努めています。またお子さんの変化や課題について共通理解が得られやすいよう、観察日の課題・環境設定などを工夫しています。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しての家族支援プログラム(ペアレントとレーニング等)の支援を行っているか	○	2歳児までは親子で参加し、様々な経験を通じてお子さん理解と関りの経験がもてるよう内容の工夫をしています。また3歳以降も関りに不安のあるご家庭には、同室での活動や登降園時間を利用して具体的な関りについて助言等を行っています。
保護者への説明責任等	③2	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	利用契約時に説明を行うとともに、運営規程については掲示をしています。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援が提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者からの児童発達支援計画の同意を得ているか	○	児童発達支援ガイドラインについては家族懇談会のなかでご紹介するとともに、事業所内で閲覧できるよう工夫しました。個別支援計画交付にあたっては口頭での説明を補足し同意を得るようにしています。
	③4	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	クラスや担当・立場を問わず挨拶などを行い、いつでも相談できる雰囲気作りを工夫しています。発信された相談については適した職員が助言・支援を行えるよう、事業所内での円滑な情報共有に努めています。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携が支援されているか	○	保護者が主体となって運営する活動は実施されていません。テーマを設けて保護者同士の語り合い、情報提供の場として「お話タイム」を実施しました。
	③6	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	○	発信された相談についてはクラス職員へ集約され、必要に応じて適切な職種につながる体制が取られています。
	③7	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	○	園だよりを月1回発行しています。ホームページについてはリニューアルに向けて準備を進めています。

	③⑧ 個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○		法人の個人情報保護規程に基づき、個人情報の定義や収集の制限、利用や提供の制限を行っています。
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮しているか	○		分かりやすい説明を心掛け、必要に応じて個別に連絡、書面での交付など工夫をしています。
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		お子さんが併用する幼稚園、保育園、他事業所などの職員に向けて見学等のご案内はしていますが、行事に住民を招待するなどの取り組みは行っていません。
非常時等の対応	④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等作成し、保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練が実施しているか	○		各種マニュアルの見直しを行っており、今後保護者への周知を進めて行きます。
	④⑫ 非常災害時の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っているか	○		クラス単位での訓練を1回/月、事業所では今後放送設備を用いた全体訓練を計画しています。
	④⑬ 事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		看護師を主に状況の確認を行い、安心して登園できる環境づくりに努めています。
	④⑭ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の診断・指示に基づき対応をしています。
	④⑮ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		提出されたヒヤリハットをとりまとめ、共有しています。
	④⑯ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待・不適切な対応等についてセルフチェックシートを用いた確認を行っています。
	④⑰ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明をし了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	○		同意書を得るとともに、個別支援計画へ反映しています。定例会議の中で内容等の検証を行い慢性的な対応にならないよう工夫しています。